

# 多賀工業会 東京支部会報

2017年5月 第20号



< 国宝歡喜院聖天堂の彫刻(子供の獅子舞) >

# 挨拶

支部長 小林 一（昭 38 学機）



**多賀工業会東京支部**の皆さまには、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃より支部の運営にご理解をいただきます事、心からお礼申し上げます。

まず、少し世の中の話題について触れさせていただきます。国内では大相撲初場所で稀勢の里（茨城県出身）が初優勝、19年ぶりに日本人の横綱誕生をやってくれました。私の友人などは、大相撲のTVはこれまで大関戦で終わりだったが、これからは横綱戦まで見られると大喜びしておりました。海外では、アメリカのトランプ大統領の誕生と思います。大統領の権限と影響力の大きさを再認識しながら、発言と行動力を期待と不安を持って見守って行きたいと思っております。

**東京支部の活動**に関して述べますと、昨年（平成 28 年）支部同窓の集いで馬場充工学部長から、工学部の現状と将来について講演していただきました。地方の大学として、日立地区やつくば地区の研究開発機関との連携を深め、かつ、学部と初期修士課程の6年間の一貫した教育の実施等を進めてゆくと、前向きの話でした。また、検討していた『フォーラム・IN東京』については、多賀工業会の活性化・会員相互の交流を目的に企画・実行に入りました。

◇第1回：平成 28 年 6 月 18 日開催

上月秀俊氏（昭 36 学機）・加藤清氏（昭 50 院精）御両名の経営トップとして多くの体験の話をベースとし、参加者 20 名で質疑・意見交換で盛り上がり 3 時間では時間が不足する状況でした。

◇第2回：平成 29 年 3 月 11 日開催 ◇第3回：平成 29 年 9 月 16 日開催予定

**懸念事項としては**、支部の財政状況がこの先かなり厳しくなってゆきます。会員の高齢化と若い会員増加が少ないことから、年会費の納入者が減少しております。ちなみに平成 25 年は 190 人、平成 27 年は 160 人、平成 28 年は 137 人となっています。本年は繰越金を活用しながら乗り切ってゆきますが、来年以降は大幅な支出の削減を行う必要があります。具体的な内容に少し触れますと、同窓の集いでは会議室の費用が高い事（山手線の内側）、それに会報の発行費用が高い事です。此の費用削減の検討を進め 7 月 8 日の総会で削減案を説明し、皆様からのご意見をいただき修正の上実施したいと思っております。

最後に、支部会員の皆様の益々のご活躍と、ご健勝を祈念申し上げます。

# 2017年 第20号 目次

挨拶	-----	小林 一	-----	1		
目次	第20号会報目次	-----	-----	2		
報告	平成29年度(第37回)同窓の集い開催のご案内	-----	事務局	-----	3	
	平成28年度(第36回)同窓の集い報告	-----	写真部	-----	4	
	平成28年度(第36回)同窓の集い写真集	-----	写真部	-----	5	
	平成28年度(第36回)講演会概要・出席者名簿	-----	小林 一	-----	6~7	
	平成28年度東京支部会計報告	-----	森田 徹郎	-----	8	
	平成29年度東京支部会計予算(案)	-----	森田 徹郎	-----	8	
	『多賀工業会フォーラム・IN東京』開催	-----	大泉 雅靖	-----	9	
	随筆	シルクロードを旅しながらの想い	-----	坪 弘	-----	10
		・・・鰻・・・	-----	大泉 雅靖	-----	11
		私とアメリカンフットボール	-----	東山 亘	-----	12
成田空港のLCC		-----	小澤 喜宏	-----	13	
思い出の北海道旅行		-----	千田 洋樹	-----	14	
支部めぐり	埼玉支部の紹介	-----	上田 正雄	-----	15	
	同好会活動	囲碁部	-----	田中栄太郎	-----	16
ゴルフ部		-----	佐藤 将彦	-----	17	
山遊会		-----	小森 廣樹	-----	18	
写真部		-----	小林 渡	-----	19	
平成28年度同窓の集い作品展出展写真から抜粋		-----	写真部	-----	20	
平成28年度同窓の集い作品展出展リスト		-----	写真部	-----	21	
女子会		-----	鈴木 葉子	-----	22	
テニス部		-----	河上 弘一	-----	23	
お知らせ		ホームページ編集室より・編集後記	-----	ホームページ・会報編集室	-----	24
		平成28年度会費納入者・寄付者名簿	-----	飯塚 英一	-----	25~26
協賛広告	ジュン・ホーム、大協印刷	-----	-----	裏表紙		

## 表紙の写真：＜国宝歎喜院聖天堂の彫刻（子供の獅子舞）＞

撮影地：熊谷市妻沼（2016年11月18日）

熊谷の妻沼にある歎喜院聖天堂は1735年から1760年に掛けて建立されました。  
彫刻技術の高さや漆の使い分けなど高度の芸術的な建物であるため、平成24年国宝に指定されました。  
聖天堂の拝殿の周りには特徴的な彫刻がはめ込まれており、内容は庶民的な雰囲気心が癒されます。是非、一度拝観をして下さい。  
鈴木 日出男（昭30学原）

# 平成 29 年度(第 37 回)多賀工業会東京支部同窓の集いご案内

1. 日 時 平成 29 年 7 月 8 日 (土) 午前 10 時から

2. 場 所 アルカディア市ヶ谷 (右図参照)  
東京都千代田区九段北 4-2-25  
電話 03-3261-9921 (代表)

交 通 : JR 市ヶ谷駅 (中央線) 下車徒歩 3 分  
地下鉄市ヶ谷駅 (有楽町線、南北線、  
都営新宿線の A1 出口)

3. 会 費 8,000 円 (当日受付にて申し受けます)  
女子会員は 4,000 円とします。

4. 総 会 午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

5. 講演会 午前 11 時 10 分～午後 00 時 00 分

演題 : 「危険な不整脈と

放置しても良い不整脈」

講師 : 佐々木 登喜夫 氏 (昭 38 学電)

6. 懇親会 午後 00 時 10 分～午後 02 時 30 分まで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。[一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上事前に写真部連絡窓口 (19 頁参照) の小林渡までメールで連絡下さい。]

8. お願い 出欠のご返事は 6 月 20 日 (火) までに同封のハガキにてお願いします。

出席連絡後予定変更で欠席となる場合は、6 月 30 日 (金) までに連絡をお願いします。  
それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くことになります。

また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円をお振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

飯塚 英一 (昭 46 学電) TEL : 045-755-1588 E-mail : [ggr5020@yahoo.co.jp](mailto:ggr5020@yahoo.co.jp)



## 講演会

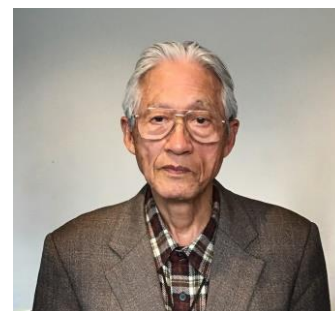
講 師 : 佐々木 登喜夫 氏

講演概要 :

- ◇心電図を理解する上で必要な心臓の解剖と生理
- ◇心臓の働き
- ◇危険な不整脈
- ◇不整脈 (①自覚症状を理解するために、②代表的な不整脈)
- ◇サイパン旅行中の学友に起きた低体温での事例

講師紹介 :

- ◇昭和 38 年茨城大学工学部電気工学科卒業・日本光電工業 (株) 入社
- ◇昭和 38 年 4 月～昭和 47 年 3 月  
日本光電工業 (株) 電気研究部で心電計・分娩監視装置・医用電子計算機の開発に従事!
- ◇昭和 47 年  
東京女子医大で 1 年間医学の講義を受講!
- ◇上記以降
  - ・日本光電工業 (株) 研修センターで社員向けに心電図・心臓カテーテル検査・脳波等について講義!
  - ・医学系大学・短大、消防学校、病院等にて心電図・脳波・ME 機器等の講義に従事!!



# 平成 28 年度 多賀工業会 東京支部「同窓の集い」

写真部 小林 渡 (昭 38 学電)  
鈴木日出男 (昭 30 学原)

東京支部の「同窓の集い」を平成 28 年 9 月 10 日 (土) にアルカディア市ヶ谷にて開催しました。来賓として多賀工業会本部会長の塩幡宏規氏・各支部からの代表の御出席を戴くとともに、現役学生の飛び入り参加もあり、支部会員 (内女子会員 6 名) を含めて総勢 74 名が出席し、盛会となりました。

忙しい時間帯での開催にもかかわらず参加して戴いた皆様の御協力・御支援に、深く感謝申し上げます。なお、スナップ写真は 5 頁に、出席者一覧は 7 頁に掲載します。以下に概要を報告します。

## ◇第一部：第 36 回東京支部総会 (10:00~11:00)

佐藤将彦 (昭 43 学子) 幹事の司会で、まず、例年通り亡くなられた方々へ黙祷を捧げました。そして、小林支部長 (昭 38 学機) の挨拶があり、続いて来賓を代表して塩幡多賀工業会本部会長から御祝辞を戴きました。その後、総会議事に入りました。

### 議事

1. 支部活動報告・・・大泉 (昭 40 学精) 幹事長
2. 会計報告・予算・・・森田 (昭 42 学電) 会計幹事
3. 会計監査報告・・・田中 (昭 40 学化) 会計監事について各担当から説明され、質疑応答を経て、原案通り承認されました。



<小林支部長挨拶>



<塩幡本部会長祝辞>

## ◇第二部：講演会 (11:10~12:00)

演題：「工学部の現状と将来について」

講師：馬場 充 工学部長

概要：上記の演題で、茨城大学工学部の現状と課題を整理して、今後の茨城大学工学部が目指すべき将来像を講演して戴きました。



## ◇第三部：懇親会 (12:10~14:30)

宴会場に席を移して、黒澤郁雄 (昭 45 学精) 幹事の司会で懇親会を始めました。山崎慎一郎 (昭 31 学原) 顧問の挨拶と乾杯の音頭でスタートし、ここで遠方から駆けつけて下さった各支部の代表者から御挨拶を戴きました。



<乾杯：山崎顧問>



<クラリネット演奏：橘氏>



<校歌・寮歌斉唱>

各参加者は円卓ごとに語り合い、飲み交わすことで大いに盛り上がり、この同窓の集

いでの大いに楽しみました。校歌・寮歌の斉唱では橘弘 (昭 38 学電) 氏のクラ

リネットに合わせて、全員で力強く合唱しました。最後は兼子八郎 (昭 38 学電) 副支部長の中締めで懇親会を終了しました。

## ◇写真展

総会・講演会会場の写真展 (写真部主催) には、例年ながらの素晴らしい作品が並べられ、鑑賞者一



同食い入るように見入っておりました。写真部の 7 人が 13 点の作品を展示しました。なお、出展写真は 20~

21 頁に掲載しております。以上

# 平成 28 年度 (第 36 回) 同窓の集い写真集



<総会 小林東京支部長の挨拶>



<懇親会 2 御来賓の皆様>



<総会 塩幡本部長の御祝辞>



<懇親会 3 昭和 40 年前後卒の皆様>



<講演会 馬場工学部長の御講演>



<懇親会 4 馬場先生と初参加の皆様を囲んで>



<懇親会 1 乾杯>



<懇親会 5 女子会の皆様を囲んで>

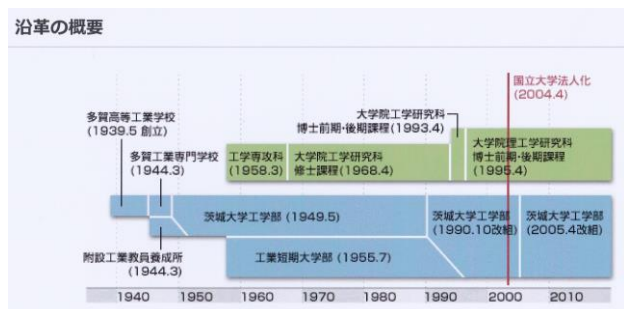
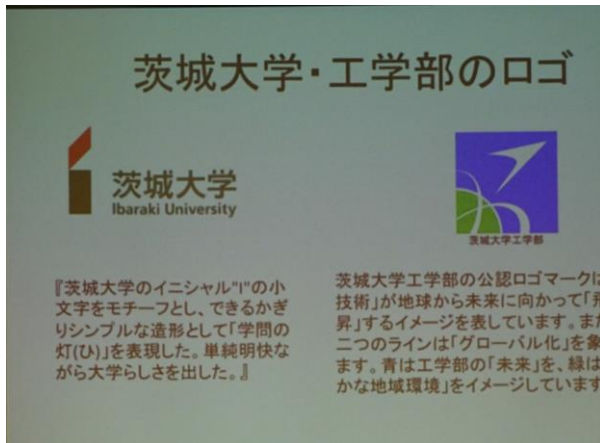
# 平成 28 年度「同窓の集い」 講演会概要

## 「工学部の現状と今後の改革について」

講師 馬場 充 工学部長

初めに茨城大学が創立 75 周年を迎えたことに対するお祝いの言葉があり、続いて工学部のロゴ及び沿革について簡単な説明がありました。

沿革の中で 2004 年の法人化に触れ、その後大きく変化していく転機となっていると強調され、本日の主テーマに話が移りました。



現在、工学部では、時代の要請に応じるための技術者・研究者を育てるために、国際交流、地域の研究機関・民間企業との交流、さらに近隣の大学・高専との交流を積極的に行っております。

次に平成 28 年度より 5 年間の国立大学の第 3 期中期目標期間に持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学への改革プランが文部科学省から求められております。

茨城大学工学部としては、工学部のミッションを再定義し、以下に述べる 3 つのポイントに整理して改革を進めてゆきます。

1. 茨城県東海地域に隣接した地域的特色を生かし、日本原子力研究開発機構など周囲の研究機関と連携した原子力科学関連の高度専門職

人養成の役割を果たす。

これに対応するため大学院理工学研究科後期課程では、量子線科学専攻の設置と同時に 6 専攻あった後期課程を複雑系システム科学専攻・社会インフラシステム科学専攻の 3 専攻に再編を行い平成 28 年月からスタートさせた。



2. 機械系・電気系など各分野において、我が国の産業基盤を支える高度な技術者を育成する。
3. 茨城県をはじめとする周辺地域に対し、工学教育の機会均等に寄与する。

2 と 3 を遂行するために、平成 30 年以降次の改革を行うべく準備を進めていきます。

### ◇体系的 6 年一貫教育

教育分野を機械・電気・化学-材料・情報・土木-建築の 5 分野に集約し、学部～博士前期課程の 6 年一貫教育カリキュラムの中で行う。

### ◇工学基礎教育及び情報教育の強化

数学・力学・電磁気学・化学・情報・英語を、専門分野にかかわらず学生全員の必修とする。

### ◇企業経験者による実務教育

地元の日立系企業などを中心に経験者を採用して、実学の教育を行う。

### ◇8 学科から 5 学科への学科の再編

現行の 8 学科を前記の 5 分野に対応させて、5 学科に改組する。

### ◇現行の理工学研究科前期課程の入学定員の増加

現行の学士課程で学ぶ学生の大学院進学意向に 대응するためと、地域や産業界のニーズに 대응するために、前期課程の入学定員の増加を検討する。

最後に工学部は引き続き改革を進めてまいりますので、多賀工業会の皆様には、今後ともご支援とご指導をお願い申し上げますとのお言葉がありました。

(記：小林 一)

# 平成 28 年度 多賀工業会東京支部「同窓の集い」出席者名簿

## 〈来賓〉 11 名 (敬称略)

塩幡 宏規	多賀工業会	本部長	(昭 47 院精)	植竹 一郎	栃木支部会	支部長	(昭 41 学電)
綿引 貞男	千葉県支部	支部長	(昭 38 学電)	小幡 勲	いわき支部	幹事長	(昭 35 学電)
上田 正雄	埼玉支部	支部長	(昭 37 学電)	高橋 好弘	仙台支部	幹事	(昭 58 学情)
飯田 陽久	水戸勝田支部	支部長	(昭 38 学電)	佐藤 淳一	中部支部	支部長	(昭 43 学機)
新江 眞	静岡支部	支部長	(昭 44 学機)	小沼 淳志	日立総合支部	副支部長	(昭 41 学化)
馬場 充	講演会講師	茨城大学工学部長					

## 〈会員他〉 63 名 (敬称略)

鈴木 日出男	(昭 30 学原)	小田倉 勝夫	(昭 38 学化)	寺田 しげ子	(昭 48 学化)
三本木 武	(昭 30 学金)	白石 道彦	(昭 38 学化)	柳下 幸夫	(昭 49 学機)
山崎 慎一郎	(昭 31 学原)	高木 二郎	(昭 38 学化)	岸添 義彦	(昭 50 学精)
矢野 睦男	(昭 32 学原)	矢部 功一	(昭 38 学化)	加藤 清	(昭 50 院精)
上月 秀俊	(昭 36 学機)	磯部 亮	(昭 38 学精)	武藤 和望	(昭 52 院金)
森永 隆宏	(昭 36 学機)	矢嶋 國男	(昭 38 学精)	加藤 邦治	(昭 53 学子)
小宅 仁	(昭 36 学電)	三好 成實	(昭 39 学機)	小澤 喜宏	(昭 53 学子)
鈴江 芳雄	(昭 36 学金)	原 俊彦	(昭 39 学電)	太田 悦子	(昭 60 学電)
小林 一	(昭 38 学機)	田中 栄太郎	(昭 40 学化)	鈴木 葉子	(昭 62 学化)
駒場 方耀	(昭 38 学機)	大泉 雅靖	(昭 40 学精)	大西 孝明	(昭 62 学情)
桜井 衛	(昭 38 学機)	青野 潔	(昭 41 学化)	平尾 直人	(昭 62 院機)
丹下 宏	(昭 38 学機)	小森 廣樹	(昭 42 学機)	千田 洋樹	(平 05 学機)
徳江 景英	(昭 38 学機)	森田 徹郎	(昭 42 学電)	東 學	(平 08 院生)
兼子 八郎	(昭 38 学電)	佐藤 将彦	(昭 43 学子)	山本 夏江	(平 10 学機)
後藤 紀夫	(昭 38 学電)	角田 勇	(昭 43 学子)	吉田 順子	(平 10 学機)
佐々木 登喜夫	(昭 38 学電)	小滝 麟太郎	(昭 45 学電)	大江 正敏	(平 19 社科)
橋本 政巳	(昭 38 学電)	吉田 通廣	(昭 45 学電)	塚原 孝紀	(馬場研究室 平 27 知シ)
熊谷 文男	(昭 38 学電)	藤枝 伸一	(昭 45 学子)	宇賀神 貴洋	(馬場研究室 平 25 院知、後期課程 3 年次)
坂野 栄	(昭 38 学電)	黒澤 郁雄	(昭 45 学精)	笠原 一輝	(馬場研究室 後期課程 1 年次)
橘 弘	(昭 38 学電)	飯塚 英一	(昭 46 学電)		
寺内 賢一	(昭 38 学電)	金子 芳久	(昭 48 学機)		
海老原 雄二	(昭 38 学金)	白川 道子	(昭 48 学金)		

御出席いただき

どうもありがとうございました！

## 平成28年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部 平成28年1月1日～平成28年12月31日 (単位：円)

費目	予算	実績	予算差	摘要
年会費	400,000	360,000	-40,000	実績180口(134名)
本部援助金	189,500	183,700	-5,800	3%減
同窓の集い会費	640,000	548,000	-92,000	74名出席
広告料	30,000	30,000	0	2件
寄付・利息	-	102,072	102,072	
収入の部計	1,259,500	1,223,772	-35,728	
前年度繰越金	849,490	849,490	0	
合計	2,108,990	2,073,262	-35,728	

### 支出の部

同窓の集い会費	600,000	538,134	-61,866	
総会場・懇親会費		497,691		
その他諸費用		40,443		
会報費	500,000	436,326	-63,674	A4版32頁全カラー；600部発行
会報印刷費		358,560		
会報配送費		41,326		
編集雑費		36,440		
会議費	120,000	102,699	-17,301	定例幹事会4回、その他の会議
交通費	100,000	100,638	638	本部・6支部総会
本部・支部総会参加交通費		21,780		
一般交通費		78,858		
交流費	230,000	225,350	-4,650	
本部・支部総会参加会費		60,000		本部・6支部総会参加
同好会援助費		160,000		6同好会援助
雑費		5,350		
振込み料負担費	18,000	11,950	-6,050	
支出の部計	1,568,000	1,415,097	-152,903	
繰越金	540,990	658,165	117,175	三菱UFJ銀¥523,368 ゆうちょ銀¥21,798 現金¥112,999
合計	2,108,990	2,073,262	-35,728	

以上の通り報告致します。

平成29年3月29日

会計幹事

森田 徹郎

監査の結果上記に相違ないことを認めます。

平成29年3月29日

会計監事

高木 二郎

平成29年3月29日

会計監事

田中栄太郎

## 平成29年度多賀工業会東京支部会計予算(案)

収入の部 平成29年1月1日～平成29年12月31日 (単位：円)

費目	予算	前年度実績差	摘要
年会費	350,000	-10,000	年会費(175口目標)
本部援助金	183,700	0	前年同額
同窓の集い会費	560,000	12,000	70名目標
広告料	30,000	0	2件目標
寄付・利息	-	-102,072	
収入の部計	1,123,700	-100,072	
前年度繰越金	658,165	-191,325	
合計	1,781,865	-291,397	

### 支出の部

同窓の集い会費	550,000	11,866	
会報費	430,000	-6,326	A4版28頁全カラー；600部発行
会議費	100,000	-2,699	定例幹事会4回、その他の会議
交通費	100,000	-638	本部・8支部総会へ参加費
交流費	230,000	4,650	8支部総会参加費・6同好会援助費
振込み料負担費	10,000	-1,950	
支出の部計	1,420,000	4,903	
繰越金	361,865	-296,300	
合計	1,781,865	-291,397	

# [多賀工業会フォーラム・IN 東京]

幹事長 大泉 雅靖 (昭40学精)

## 1. フォーラム開催のねらい

多賀工業会の活性化・会員相互の交流を目的にフォーラムを開催しました。このフォーラムは実業界で経営者・研究者・技術者として活躍してきた多賀工業会同窓の講師の実務経験や人生経験を中心に講話をしていただき。併せ、参加した講師や同窓の参加者との交流・懇親を深め、皆さんの仕事に生活の充実に役立てただけの事を目的に開催しました。

## 2. 第一回フォーラム・2016年6月18日開催

### (1). 上月 秀俊 氏 (昭36学機)



いすゞ自動車(株)入社 検査・品質管理・海外サービスの部署長を経験後、タイいすゞ自動車(株)社長、タイの関係部品会社の取締役として、タイ日本人商工会議文化交流委員など活躍してきました。帰国後はアイケーコーチ(株)社長(現J-Bus)日本自動車車体工業会理事等での業務と併せ、現在でもタイの産業発展に協力しており、海外での豊富な経験のお話が聞くことができました。特に機械技術屋がなぜ品質管理部門へ配属されたか? 「品質管理(部品・設備・完成車・工場管理)を見る、品質管理での苦い経験等(GMや中国-タイ等海外での業務)」の経験豊富な講話を聴くことができました。また上月さんは多賀工業会東京前支部長として多賀工業会東京支部活動にも熱心に取り組んで頂いておりますが、本部活動も含め多賀工業会の活性化についての思いを熱く語っていただきました。

### (2). 加藤 清 氏 (昭50院精)



日立工機(株)入社 設計部門で商品開発に関わり欧州駐在主任技師として活躍してきました。その後は商品企画部長・設計開発部長として日立工機の電動工具のトップメーカーとしての商品開発の中核として活躍し、代表取締役社長・会長として会社経営に関わってきました。現在は当社の相談役として、又、経団連幹事としても活躍しており、技術者として、経営者として、財界人としての豊富な実務経験のお話をお聞きできました。特に成熟マーケットでの商品開発である「コードレス・スーパーインパクトドライバーの開発成功体験」を事例に講演していただきました。「遊び心を持ってやるべきことをやる」で大ヒット商品にした成功談でした。また加藤さんは多賀工業会東京支部幹事・水戸勝田支部の副会長として多賀工業会の活性化に取り組んでいただいております。

### (3). 参加者交流会・懇親会

## 3. 第二回フォーラム・2017年3月11日開催

### (1). 東 學 氏 (平8博工学)



大阪工業大学電気工学科卒業後、自動車部品会社で電装品・排気ガス浄化関連の技術・開発に従事しました。経験を基に平成5年(61歳)に茨城大学大学院博士課程に入

学し環境技術の研究で工学博士を取得した経歴をお持ちです。その後、各種環境浄化、自然エネルギー利用・開発や水溶性珪素による健康寿命促進活動に取り組んできました。高齢化が進み健康障害も増加していくなかで「珪素のエネルギー事象と生体機能向上」についての研究成果を公開していただきました。現在85歳で医療機関・薬にお世話になることなく健康な研究生活でご活躍とのことで水溶性珪素の効能と併せ、自然のエネルギーを取り込める万座温泉や諫早市にある人工施設での体験等健康に関する興味のある研究成果を講演していただきました。

### (2). 丸島 國義 氏 (昭55院電)



職業訓練大学校、茨城大学修士課程終了後(株)第二精工舎及びオリエンタルモーター(株)で小型モーターの研究・開発に関わり、その間に秋田大学院博士課程修了し開発技術者として活躍、倉庫会社経営の経歴もありますが、現在は技術・実務を離れています。今回の講演は「晩節の自立と稼ぎ方(自動車ラリーと株式投資)」と題しての講話でした。大学時代の友人3人と40年に渡る自動車ラリーの活動を継続してきた経緯と、ラリーの仕組みやレースの面白さを系統だった講話でした。ラリー仲間から派生する新たな出会いが広がる喜びをも語ってくれました。又、社会参加と自立を維持するための稼ぎとして取り組んでいる株式投資についての成功体験・失敗体験をも講話していただきとても参考になりました。現在は房総の千倉に住み優雅な生活を送られているとのことです。丸島さんは多賀工業会東京支部で若手の幹事としても活躍していただいております。

### (3). 参加者交流会

#### ・懇親会



### 次回「第三回フォーラム」の開催ご案内

日 時: 2017年9月16日(土曜日)

場 所: 未定(東京都内を予定)

講 師: 未定(詳細はHPにて)

連絡先: 下記メールアドレスまで!

HP担当 黒澤 郁雄(昭45学精)

[8my66j@bma.biglobe.ne.jp](mailto:8my66j@bma.biglobe.ne.jp)

## ”シルクロードを旅しながらの想い”

坏 弘 (昭 37 学機)



**旅程は成田から**上海經由ウルムチへ⇒バスでトルハンへ⇒高速鉄道で敦煌へ⇒空路で西安へ⇒空路で上海經由成田への 5 月中旬のツアー旅行でした。初日は成田から上海經由新疆ウイグル自治区ウルムチ市へ。砂漠の中の小さなたたずまいを想像していたのに反し、ウルムチ市は人口 600 万都市とかで高層ビルが林立し、看板には漢語とアラビア文字が併記されエキゾチックさを感じさせると共にダイナミックさが感じられた。訪れた自治区博物館では、楼蘭の美女に会う事が出来た。砂の中から見つめられた 4000 年前の彼女は、ロシア南部のコーカサス地方から移動してきたコーカソイドであったようだ。4000 年前の楼蘭は、スウェーデンの探検家ヘーデンが 19 世紀後半に探検した当時楼蘭にはまだロプノールの彷徨える湖が存在していたように、多くの緑の残るオアシスだったように想われる。次のトルハンでは、砂漠の中の地下水路・高河古城とアスターナ古墳群等を視て廻った。アスターナ古墳群は、ヘーデンと前後してタクラマカン砂漠を経てインドまで入った日本の大谷光瑞に率いられた大谷探検隊（西本願寺の僧）により発見されたとの事。大谷探検隊はどのようにして、この平原の中からこれらの墓を発見する事が出来たのか？ おそらく土地に伝わる伝説か、露見した遺物などから糸口を見出したように思われる。トルハンから敦煌までは中国の高速鉄道では約 3.5 時間、max200km/h ぐらいのスピードだったと思う。天山山脈寄りのタクラマカン砂漠の中に引かれた軌道は、ほぼ直線のせいかわれもほとんどなく快適であった。この高速鉄道の駅で改札を入るにはパスポートのチェックを受けてほとんど人影のない構内に入る事になるが、民族雑多な土地柄かテロを警戒しているのかも知れない。沿線の景色は、多少の変化はあっても砂漠が主で、沿線には油井が多くみられた。何十年か前に読み筋は既にほとんど想いだせないが、井上靖が小説とした敦煌には夕方着いた。陽も伸びていたので、その日のうちに月牙泉オアシスと鳴沙山を視る事が出来た。黄砂に霞んだ陽の下で視る月牙泉は、幻想的でもあった。あくる日はよいよ莫高窟見物と



なった。窟群は現在 492 窟あり、4 世紀から 14 世紀にかけて 1000 年の間に掘られたもので、唐代の物が一番多いとのこと。遣唐使の阿倍仲麻呂などを思い出し、親近感のようなものを感じた。色彩も鮮やかな仏像は、私にはなぜか西洋人的な顔立ちをしているように見えてしまう。ヒンズー教の一派と言われる釈迦の仏教は、5 世紀近くを掛けインドから北上しガンダーラの地で前 3 世紀にアレキサンダー大王がもたらしたヘレニズム文明と出会い、その影響を受ける事により



仏像が生まれたと言われている。小説の中でただ一つだけ忘れられなかったのは、粘土の壁で隠されていた部屋が見つかりその中に多くの仏典が発見されたと云う件。この時発見された貴重な仏典の多くが、ハンガリー人のスタインやフランス人のペリオなどにより安く買い取られてしまったとの事。

**敦煌から**かつての古称長安（西安）までは空路となった。有名な兵馬傭抗は、井戸掘りをしていた農民が見つかり発掘されたとのこと。6000 体の始皇帝軍団の各々は当初本物の武具を身につけていたが、それらは盗掘者により全て持ち去られていたとの事である。西安ではそ



の他三蔵法師がインドから持ち帰った經典などを保管したと伝えられる大雁塔や、日本の空海こと弘法が修行をした青竜寺等を見て廻った。かつて宝山製鉄プロジェクト等で 10 数回中国には来ていたが、今回はその後の開放経済の進展の一端を見せつけられたような気がした。ハーグの仲裁裁定を紙くずと決めつけ、南沙諸島の主権を言い張り、不毛と思われた砂漠では油井を掘り、コンクリート舗装のシルクロードを伸ばしているこの国の国力可能性を思うと、空恐ろしささえ感じずにはいられない旅でもあった。

### 著者プロフィール

- ・1962年：機械工学科卒
- ・同年：石川島播磨重工業（現IHI）入社
- ・1999年：アメリカ伊藤忠商事とのJVへ出向（GM）
- ・2009年：IHI 自主退社

大泉 雅靖 (昭 40 学精)



若い頃から鰻大好きな私だが久し振りにうまい鰻を食べる機会がありました。江戸時代、庶民の食材であった鰻も今は高級食材となりなかなか食べる機会が少なくなっているが“うまい鰻のはなし”を紹介し

ます。但し食べ物の旨い・不味いは人により様々であることは承知の上です。

◇ 鰻のはなしそのⅠ：成田山新勝寺門前の鰻屋さん

昨年の暮に成田で仕事のあと電車の待ち合わせ時間に成田山新勝寺に立ち寄った。利根川や霞ヶ浦、印旛沼に近い成田では江戸の昔から参拝人に鰻を提供していたとのことで地元の友人に成田で評判の鰻屋を紹介してもらった。門前の「鰻の駿河屋」が成田では一番とのこと出向くと女将が注文を受けてから、「さばき、蒸し、焼きと1時間半はかかるがよろしいか」とのこと、これは本物ではないかと考え注文した。その待ち時間に成田山新勝寺をお参りしてから戻り鰻にありついた。待っただけのことはあり、鰻の香や色艶、柔らかい食感、たれの味と申し分なくご飯が鰻と一体になり天下一品といっても過言ではなかった。帰宅して鰻大好きの連れ合いに話したところ“良いわね、自分だけが・・・”の言を受けてその10日後の正月6日に成田山新勝寺に初詣を兼ねて鰻を求めて出掛けた。この日は初詣の行事で参拝客があふれ、勿論「鰻の駿河屋」も注文してから3時間半とのこと、今回はこの店の鰻が目的なので注文し、時間まで成田山新勝寺の広い境内を散策し仏閣に初詣しました。特に本堂では定例の参拝者のお札の炊き上げる“護摩炊き”行事に参列した。宿坊から本堂まで高僧のお坊さんを先頭に20人のお坊さんが列をなし参列“読経・護摩炊き”の厳粛な行事に参列できた。今年が良い年になるのではとの予感をもたせてくれた。

「鰻の駿河屋」では連れ合いがとても喜んでくれ目的達成でしたが、その3日後にTVで成田山新勝寺を紹介する番組でこの「鰻の駿河屋」を取り上げていた。女将やご主人が自慢げに他の鰻屋との違いや調理法など自慢の鰻を紹介していたが、なるほどと感心させられた。また参道には多くの鰻屋がお客を呼び込み、人それぞれ好みのお店で鰻を味わっておりどこも満員であった。

◇ 鰻のはなしそのⅡ：信州諏訪の鰻屋さん

50年前、社会人になってから始めたスキー・山歩きで信州にはよく出かけた。特に冬の季節には白馬や黒姫などのスキー場を訪れ楽しんだ。勤めた会社が自動車メーカーでもあったのでそのころ雪道に強い「FFのスパル1000」で出かけ待ち合わせ場所の信州諏訪「鰻屋おび川」で鰻を食べながら合流するのが慣例であった。

この店は柔らかく肉厚の鰻を二段重ねて提供するが、鰻と間に挟まっているご飯との一体感が素晴らしく若い人にも満足感のある鰻重であった。その後も「スパル360」に乗り山歩きをした帰りには必ずこの店で鰻を食べるのが楽しみでもあった。今でも信州旅行の帰りや鰻を食べに日帰り旅行で連れ合いと訪れ鰻を食べに行く。

その頃は威勢の良かったご主人と美人の女将が対応していたが、今ではお一人になった90代の女将さんや倅のご主人と昔噺に花が咲く。鰻を満喫した後は諏訪温泉の一面の町の文化財である大正時代の「旧片倉製糸工業の社員クラブ」を改造した日帰り温泉「片倉館」に出向くのが慣例となっている。趣のある高級感のある大理石の湯殿と小型のプールのような深めの湯船には玉砂利が敷き詰めてあり豊富なかけ流しの温泉で体を温め東京まで戻るとても贅沢な日帰りの旅を楽しんでいる。鰻が取り持つ旅の楽しみでもある。

◇ 鰻のはなしそのⅢ：東海道三島の鰻屋さん

三島は江戸の昔から鰻が東海道の名物としても紹介されており、隣の沼津の海の魚とともに有名である。私はこの三島と・沼津を分ける清流・黄瀬川の畔にあった富士ロビンの経営を担当していたが、単身赴任でもあり鰻や海の幸を食べにぶらりと町へ出かけたものだ。三島大社の門前町でもあり宿場町三島では江戸時代から続いている老舗の鰻屋「桜屋」、新しい鰻屋でもあるが評判の「すぎの坊」「うなよし」等多くの鰻屋がある。江戸時代東海道の難所といわれた「箱根の山」の峠越えの前に精力をつける、使い果たした体力の栄養補給にと旅人に鰻を提供してきたとのことだ。この三島・沼津の地は富士山の伏流水・清流で有名な柿田川・黄瀬川・三島の町を流れる大場川では伊豆の山から流れてくる狩野川等の川の町でもあり昔から鰻が取れ清流で鰻の泥臭さをなくしたことも鰻が名物になった要因だともいわれている。これほど鰻屋があると競争が激しく料理法や味にも特徴を持たせ提供しており味比べもなかなか楽しいものだ。友人や家族を連れて行ったが今でもそのころのことが懐かしく話題になる。また会社でも大切なお客が来るとよく鰻屋にお連れして喜んでいただいた。

◇ 是非、訪れてみてください！

著者プロフィール

- ・昭和40年：精密工学科卒富士重工（スパル）入社  
エンジン・トランスミッション製造技術担当
- ・昭和61年～平成10年：自動車購買業務担当
- ・平成10年～平成13年：産業機械事業本部担当
- ・平成13年～平成15年：富士ロビン社長
- ・平成15年～平成17年：六本木ヒルズアート都市塾  
田辺コンサルスクールでコンサルタント研修
- ・平成17年～：経営コンサルタント、各社顧問
- ◇平成15年～：多賀工業会東京支部幹事
- ◇平成27年～：多賀工業会東京支部幹事長

# 私とアメリカンフットボール

東山 亘 (平9学電)

## ＜アメリカンフットボールとの出会い＞



私がアメリカンフットボール(以下「アメフト」)と出会ったのは、高校時代です。本当は高校入学前から弓道部に入ろうと思っていましたが、アメフト部からの猛烈な勧誘もあって『弓道は年配の方もやっているし。アメフトはハードだから若い時しかできないかも』と思い『今しかできないことをやろう!』と決め、アメフト部へ入部しました。その後も大学、社会人と続けて、20年以上もアメフトと付き合い合うことになるとは、当時は想像もしていませんでした。そんな『私にとってのアメフト』をご紹介しますと思います。

## ＜アメフトの魅力＞

アメフトはルールが複雑で難しいと言われます。確かに、このスペースでは説明しきれないくらい複雑で、最初は取つきにくい印象があるかもしれません。アメフトの魅力は人によって色々言われますが、私は以下の3つがあると思っています。

- ◇選手としてプレーする
- ◇コーチとして指導する
- ◇ただ、観戦する

1 つ目は、若いうちに選手としてプレーをする楽しさです。私の場合、高校～大学～社会人の各チームに所属し満喫しました。

2 つ目は、コーチになり戦略を考えて実行したり、選手育成をして勝利する楽しみです。私は、選手時代の経験を活かして



2000年から茨大アメフト部のコーチ(監督)をしています。学生選手の育成や、戦略を実行する為の練習や試合は、私にとっても勉強すべきことが多くあります。これらは仕事にもたくさん活かされています。

社会人時代の私(2007年)

3 つ目は、テレビや球場で迫力あるプレーや華麗なプレーを観ることです。戦略を読んで次のプレーを想像しながら観戦する楽しみもあります。私は高校時代から、アメリカNFLのTV観戦を趣味にしています。特にSuper Bowl(NFLの一位を決める試合)は毎年、楽しみにしています。今年はスーパープレー続出で最後まで結果のわからない、とてもエキサイティングな試合で、とても楽しい時間を過ごせました。

## ＜茨城大学アメリカンフットボール部：STARGAZERS＞

私が監督をしている茨大アメフト部は、関東学生リーグに所属しています。昨年はリーグ優勝&上位リーグの入替え戦に勝ち、今年からリーグ昇格を果たすことができました。

私はアメフトを会社の縮図に例えることがあります。多数の部署(=ポジション)があり、スキルや個性の

異なる社員(=部員)が、目標(勝利)に向かって努力します。原則、現場のことは現場(=学生達)で考え、対処させています。ちなみに、4年生は役員、主将は社長、OB/OGは株主で監督は会長です。

よく、「監督は、毎週、水戸まで行って指導しているの?」と聞かれます。答えはNOです。日々の練習は選手達が自ら行います。練習や試合のプランは、メールや電話を通して意識合わせを行います。実際に現地へ行くのは年に数回です。アメフトは、試合前にどれだけ戦略を精緻に練るかで勝敗が決まるスポーツです。ゆえに、このようなコーチングが可能なのです。監督の役割は、チーム方針や練習メニューの策定とその予実管理をしますが、あくまで選手のサポート役です。練習や合宿に参加した際は、1年生からマネージャー



の全ての部員と直接話をして、顔や個性を覚えるように心がけています。

また、技術的な指導よりも、(特に上級生に対しては)チームの運営方法の指導に時間をとっています。

彼らが社会に出た時に、この経験が必ず生きてくると信じて、活動しております。

## ＜最後に＞

私は、前監督から監督になるお話を頂いた時、どのようなチームを作るか決めました。それは、『卒業したOB/OGが戻ってこられる場所をつくる』ということです。卒業後、社会にでると楽しいことだけでなく、辛く苦勞することもあるかと思います。そんな時、昔を思い出してインターネットで「茨大 アメフト」と検索した結果に、今も活動しているアメフト部がヒットしたら嬉しいと感じると信じています。楽しい日々を過ごしている卒業生は、その楽しさを後輩たちに伝える為に戻ってきてくれる場所にしてほしいです。その為には、チームが強くなることだけでなく、コーチの体制強化や、OB/OG会の運営、ホームページ等の情報発信も重要だと考えております。最近はこのような活動もOB/OGと協力しながら取り組んでおります。



この記事を読んで頂いた皆様からも、茨大アメフト部を応援して頂ければ幸いです。

## 著者プロフィール

- ・平成10年：NTTドコモ 入社
- ・平成21年：ドコモCS(当時ドコモモバイル)出向
- ・平成26年：NTTドコモ 復帰

# 成田空港の LCC

小澤 喜宏 (昭 53 学子)

## 1. LCC について



成田空港における LCC (Low Cost Carrier : 格安航空) についてご紹介します。LCC は、座席間隔を狭めて定員を 20% 増にし、また預け荷物、座席指定、機内食、毛布などを追加料金とする代わりに、運賃を大手の 30%~70% に下げています。成田空港における国際と国内を合わせた LCC のシェアは、2013 年冬ダイヤで 11.5% でしたが、2016 年夏ダイヤでは 25.7% と大幅に拡大しました。

成田空港に乗り入れる国内 LCC

(注) : 2016 年 4 月 4 日 ~ 4 月 10 日 (7 日間) の定期便スケジュールに基づく

 札幌、関西、那覇 他 (国内 9 都市) 台北、香港、マニラ (国際 3 都市)	 札幌、関西、福岡、那覇 (国内 4 都市) 注 : 第 1 ターミナル南 W 使用
 札幌、那覇、奄美大島 (国内 3 都市) 台北、高雄、香港 (国際 3 都市)	 広島、佐賀 (国内 2 都市) 重慶、武漢 (国際 2 都市)

## 2. 利用の仕方

予約は WEB のみで、料金は早めの予約ほど、また平日や深夜早朝便ほど安く設定されています。チェックイン時間は定刻の 90 分前~30 分前まで、この時間に間に合わないと払戻しもなくチケットが無駄になることがあるので、余裕のある行動が必要です。

各社とも、席数限定の激安セールを頻繁に行っており、それらをチェックすると安いチケットが手に入ります。ちなみに、ジェットスター・ジャパンは片道料金を全国のラーメンの平均価格である 802 円とした「ラーメン価格に挑戦セール」を今年の 4 月 5 日から 7 月 14 日に国内 16 路線で実施しました。



成田空港には LCC 専用の第 3 ターミナルビルがあります。天井の仕上げをせず、コンクリート剥き出しの柱に案内サインを張り付けるなど

して建設コストを削減し、航空会社やお客様の支払う料金を第 1、2 ターミナルビルの半額にしています。

## 3. 激安ツアー



成田空港から LCC 国内線の路線が増えたおかげで、激安ツアーが数多く販売されています。例えば、私もこの 2 月に会社の仲間と「成田発、日本三景安芸

の宮島・萩・津和野 2 日間、4 食付き 39,900 円」というツアーに参加しました。原爆ドーム、宮島・厳島神社、津和野、秋吉台、岩国錦帯橋など世界遺産を巡り湯田温泉旅館に泊まって瀬戸内海の幸を食するものです。とてもリーズナブルな旅でしたが、一つ難点は成田の朝 7 時発、到着は 21 時と遅くなることです。

## 4. 成田空港との早朝深夜アクセス

JR、京成とも LCC 対応で早朝深夜ダイヤを増やしました。JR NEX の下り始発は東京 6:18 発、逆に上り最終は空港第 2 ビル 21:44 発、片道 3,020 円です。京成スカイライナー始発は日暮里 6:03 発、逆は空港第 2 ビル 22:30 発、片道 2,470 円です。

また、東京駅から「東京シャトル」「THE アクセス成田」の 2 社がシャトルバスを運行しており片道運賃が事前予約 900 円、現金払い 1,000 円となっています。

成田空港を早朝に出発する LCC には電車では間に合わない便もあります。かといって、成田に前泊する



とせっきくの安い運賃が台無しとなります。そんな時に便利なのが、東京八重洲口を深夜 1 時~2 時頃に出る深夜バスです。女性専用車 (片道 2000

円) や、お台場にある「大江戸温泉物語」に行き割引入浴して早朝 3:40 発で成田に 5:15 着のプラン (事前予約) などもあります。ぜひ一度、成田から LCC の旅を体験してみてください。

## 著者プロフィール

- ・昭和 53 年 : 新東京国際空港公団 (現成田国際空港株式会社) 入社
- ・平成 28 年 : 空港情報通信株式会社代表取締役社長に就任

◇趣味 : 旅行、ゴルフ、絵画鑑賞

# 思い出の北海道旅行

千田 洋樹（平5 学機）

## 1. 北海道旅行



夏の連休を利用して家族で北海道旅行に行ってきた。北海道を訪れるのは3度目となるが、今回は日程の都合で2泊3日の短い旅行となったので、家族と話し合い札幌市内に宿泊しながら2日目

に美瑛と旭山動物園を観光することにした。

## 2. 美瑛観光

2日目の早朝にホテルを出発しレンタカーで美瑛に向かった。宿泊した札幌市から、高速と一般道を利用し2時間半かけて美瑛に到着。美瑛は「日本で最も美しい村連合」に加盟しており、丘陵地帯の畑が幾重にも重なりパッチワークのように見える景色が有名である。

まずはパッチワークの路と呼ばれる有名な観光スポットを訪れ、CMで使われた事があるケンとメリーの木やセブンスターの木などを訪れた。地平線まで広がるパッチワークの中に個性的なシルエットの木が堂々と佇む光景は圧巻であった。



その後はパッチワークの路の近くにあるパノラマロードを車で走った。この時期に既に収穫を終えている畑はベージュ色に見えるが、これが緑の畑とコントラストを作り上げ、非常に見ごたえがある景色であった。どこまでも広がるパッチワークの景色は、北海道の広さを十分私たちに感じさせてくれた。



た。

今回訪れた夏以外の季節にも美瑛は四季折々の魅

力的な姿を見せてくれるとのこと。今度訪れる際は雪が積もった冬景色を見ようと誓いながら美瑛の景色に別れを告げた。

## 3. 旭山動物園

美瑛を観光した後、夕方から日本最北端の動物園である旭山動物園を訪れた。事前情報では駐車場に入るまでに長い間待たされることもあると聞いていたが、朝から動物園を訪れていたお客さんが帰り始めていた為、スムーズに駐車することができた。訪れた日は閉演時間を夜まで延長しており、日中とは違った姿の動物たちを見学しようと園内はまだ沢山の家族連れで賑わっていた。

園内では様々な工夫を凝らした動物の展示に目を奪われた。正門近くにあるとりの村と呼ばれる施設では、自由に飛び交う色鮮やかな鳥の姿を間近で見る



ことができた。あざらし館では通路に円柱型の水槽があり、その中をアザラシが泳ぐ姿を目の前で見る事ができた。レッサーパンダの檻には来園者の頭上に大きく張り出したつり橋が設置されており、私たちの真上を走り回る光景が見られた。躍動感に溢れる様々な動物の姿を観察できたことが印象的であった。また動物を紹介する展示物や順路案内の看板などが職員さんの手作りでも可愛らしく作られており、非常にアットホームな雰囲気を感じられる動物園であった。

2015年の旭山動物園の年間入場者数は東京・愛知・大阪の動物園に続き4位であったとの事。大都市圏の動物園に引けを取らない人気の秘密を実際に訪れて強く感じる事ができた。今回の旅行は短いながらも非常に充実した内容となった。

### 著者プロフィール

- ・平成5年：日立工機株式会社 入社
- ・趣味：旅行、ドライブ、野球

## 埼玉支部の紹介

支部長 上田正雄（昭 37 学電）



東京支部では数年前から女子部を発足させたり、最近では多賀工業会フォーラム IN 東京を開催したりと、活発に活動されており支部活動の活性化の努力に敬意を表したいと思います。

さて最近の埼玉支部の活動状況を紹介させていただきます。当支部の状況は会報ではもとより、本部会報にも毎年支部便りとして掲載されておりますのですでにご承知かと思いますが、当支部は千葉県、関西支部に次いで3番目に創立に至った経緯があります。その後、年を経てその活動が活発になり、総会出席者がピーク時には63名（平成13年）を数えた時代もありました。その間、ゴルフ同好会（多賀むさしの会）、写真同好会（ワンダーフォトクラブ）、囲碁同好会（埼玉越碁会）が発足してそれぞれの活動が活発化していったものと思われます。それからしばらくは、ゴルフで4～5組、囲碁会で20名位が集まり活況を呈したものでした。

最近では総会出席者も減少傾向にあり、来賓も含めて40名前後となっています。会員の高齢化が進む中、新たな会員の参加が殆ど無い（46年卒以降は1名のみ）という現状をどう打開すべきかで頭を悩ませています。このような傾向は近隣支部も同様と思われ、ゴルフは東京支部会員との交流、囲碁は東京・千葉県支部との相互乗り入れを図って、にぎやかな会の運営が図られるよう協力し合っているところです。最近囲碁については東京支部と段級判定のレベル合わせのため、持ち点調整の見直しを行いました。いずれは千葉県支部とも調整が出来れば3支部合同の囲碁大会、といったイベントが出来るものと思います。ゴルフではすでに年に1度近隣5支部対抗戦が行われています。なお、写真については東京支部と撮影会や入選作展示会の案内等で協力しあっているところでもあります。当面はこのような協力体制を充実させながら、46年卒以降の会員の会の活動（同好会参加、総会出席）への参加を粘り強く呼びかけてゆきたいと考えております。

埼玉支部は現在のところ総会や囲碁大会の会場は戸田市で行っており、東京、神奈川とは至近距

離にありますので、東京支部の会員さんも是非当支部の会員にもなっていただけるよう期待しています。



多賀むさしの会（ゴルフ部）



妻沼聖天山前にて（ワンダーフォトクラブ）



囲碁対局中（埼玉越碁会）

既にお互い相互の会員となって活動されている方もおられますが、勿論当支部の会員でなくても趣味の同好会への参加は大歓迎です。

前記の通り、埼玉支部は東京支部とも至近距離にあり、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### 著者プロフィール

- ・昭和37年：古河電気工業入社
- ・昭和53年：古河総合設備（現富士古河E&C）へ
- ・平成04年：（株）三興社代表取締役就任
- ・平成16年：（株）三興社代表取締役退任
- ・平成20年：4月に埼玉支部長就任～現在に至る

## 囲碁部

部長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は昭和 31 年卒の先輩から 46 年卒の方々までの 25 名で、棋力は八段から 3 級までいろいろです。大会は、年に 4 回 2 月、5 月、11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土曜日に東京駅近くの碁会所「いずみ囲碁ジャパン」で行います。

試合は、午前 10 時半から夕方まで、参加者各人が 5 回対局する方式で熱戦を繰り広げます。初参加時の棋力は申告制で、ハンディ制を採用し

ているので、段級位にかかわらず、勝つチャンスがあるような運営システムでやっています。成績次第で、段級位が昇降します。囲碁に関心のある方はご参加ください。会費は 2,000 円 (入場料、運営費を含む) で 1 位から 6 位まで (参加者数による変更有り) の方と実力を発揮できなかった方 1 名に奨励賞が授与されます (準スイス方式を採用)。対局終了後、会場近くで希望者による簡単な懇親会を行っています。

### 連絡窓口

部 長：田中 栄太郎 TEL 0466-82-4988

\*\*\*\*\*  
平成 28/29 年度の大会入賞者 (支部会報第 19 号記載以降) は以下のとおりです。

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	参加者
66	2016 05-14	藤沼五段 (機 43)	飯村二段 (電 36)	白石二段 (化 38)	真下八段 (機 36)	山崎 4 級 (原 31)	—	10 名
67	2016 08-06	粕谷二段 (電 42)	兼子二段 (電 38)	門井三段 (化 44)	寺内道義六段 (化 44)	佐々木四段 (電 38)	田中四段 (化 40)	13 名
68	2016 11-12	佐々木四段 (電 38)	山田五段 (電 42)	益子四段 (機 38)	寺内道義六段 (化 44)	阿部三段 (子 44)	桜井二段 (機 38)	18 名
69	2017 02-04	上田四段 (電 37)	兼子二段 (電 38)	桜井二段 (機 38)	小室五段 (金 36)	佐々木四段 (電 38)	山崎 3 級 (原 31)	16 名



第 69 回囲碁大会参加者 (場所：いずみ囲碁ジャパン)

前列左から、益子四段、白石二段、上田四段、小室五段、山崎 3 級、柏木 2 級  
後列左から、田中四段、佐々木四段、山田五段、門井三段、藤沼五段、兼子二段、桜井二段、粕谷三段

# ゴルフ部



副部長 佐藤将彦 (昭 43 学子)



部名を「多賀いちょう会」とし、春秋計 2 回のコンペ開催と近隣五支部との対抗戦（各支部持ち回り）への参加を行っております。会員数は 34 名です（平成 29 年 1 月現在）。

平成 28 年度活動報告と平成 29 年度活動計画は次の通りです。（氏名は敬称略及び卒年の「昭」省略）。

## 1. 平成 28 年度第 30 回記念大会春季コンペ

- ・開催日：平成 28 年 4 月 12 日（火）、13 日（水）
- ・場所と参加者（順不同）
- 12 日：森林公園ゴルフ倶楽部（10 名）
- ・参加者：上月秀俊（36 学機）、上田正雄（37 学電）、小林一（38 学機）、駒場方耀（38 学機）、兼子八郎（38 学電）、大久忠雄（38 学電）、青野潔（41 学化）、角田勇（43 学子）、西岡周二（47 学機）、佐藤将彦
- ・優勝：小林、2 位：青野、3 位：西岡
- 13 日：ヘリテイジゴルフコース（7 名）
- ・参加者：上田正雄、兼子八郎、平山隆司（40 学化）、青野潔、角田勇、西岡周二、佐藤将彦
- ・優勝：西岡、2 位：青野、3 位：平山
- 総合優勝（2 日間のネット計 1 位）：西岡

西岡氏には優勝盾（上月氏に依頼し、タイから購入）贈呈。また、五支部対抗懇親コンペの予選会を兼ね、2 日間計グロス上位 4 名を選出。

- ・競技方法：両日とも新ペリア方式

ゆっくりと埼玉・熊谷市のホテルヘリテイジに 1 泊（6 名）し、温泉と計 2 プレー及び、懇親宴会を実施して楽しみました。



12 日  
森林公園ゴルフ倶楽部



13 日  
ヘリテイジ  
ゴルフコース

## 2. 平成 28 年度 五支部対抗懇親コンペ

（幹事担当 栃木支部）

- ・開催日：平成 28 年 6 月 8 日（水）
- ・場所：サンヒルズカントリークラブ（宇都宮）
- ・参加者：20 名（当支部からは第 30 回春季コンペのグロス上位を中心の 4 名で青野潔、平山隆司、角田勇、西岡周二が参加）。見事、3 年ぶりの団体戦優勝の荣誉に輝きました。個人戦でも、青野氏が 1 位に入り、ダブル優勝を成し遂げました。平成 29 年度は東京支部が担当。

## 3. 平成 28 年度 第 31 回秋季コンペ

- ・開催日：平成 28 年 10 月 25 日（火）
- ・場所：紫 CC(紫あやめ 36)・西コース
- ・参加者：10 名（以下、順不同）
- 上田正雄、小林一、磯部亮（38 精密）、梅森信治（38 精密）、森俊和（40 学化）、平山隆司、富田瑞穂（41 機械）、青野潔、角田勇、西岡周二
- ・優勝：西岡、2 位：森、3 位：平山
- ・競技方法：新ペリア方式



第 31 回 紫 CC(紫あやめ 36)・西コース

## 4. 平成 29 年度 第 32 回春季コンペ(結果 HP)

- ・開催日：平成 29 年 4 月 14 日（金）
- ・場所：紫 CC（紫あやめ）・東コース

## 5. 平成 29 年度五支部対抗懇親コンペ(結果 HP)

（東京支部担当）

- ・開催日：平成 29 年 6 月 2 日（金）
- ・場所：紫 CC（紫あやめ）・東コース

引き続き、若手・女性の入会、スポット参加を期待しております！！



連絡窓口 部長：青野 潔 044-954-2573  
副部長：佐藤将彦 050-7524-0949

# 山遊会

会長 小森廣樹（昭42学機）

関東ふれあいの道「三浦半島南端海岸線 14 km ハイック」と錦繡に彩られた最も美しい時期の「紅葉と森林セラピー西沢溪谷ハイック」を行いました。その概要を記します。

なお、山行計画ごとに「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。会員でない方の参加も歓迎します。

## 1. 第51回行事 三浦半島南端海岸線 14km ハイック

実施日：2016年3月27日（日）日帰り

行程：松輪バス停→間口港→劔崎灯台付近→松輪海岸バス停→毘沙門天入口バス停→白浜毘沙門天→毘沙門洞窟→毘沙門児童公園→盗人狩→千畳敷・観音山→宮川町バス停→椿の御所バス停

参加者：9名（敬称略）山崎慎一郎（31学原）、矢野睦男（32学原）、兼子八郎（38学電）、大塚進（38学化）、白石道彦（38学化）、田中栄太郎（40学化）、青野潔（41学化）、小森廣樹（42学機）、中島穰（44学子）

＜概要＞9：10京浜急行三浦海岸駅に集合、横須賀在住の大塚氏の案内役で出発。劔崎行のバスで約20分。松輪の停留場で下車。天候は曇りのち晴。25分程畑中の道を歩くと間口漁港に着き、これからが海岸線歩きだ。劔崎灯台（標高約24mで1991年無人化）に登る。少し先の方の水辺には何人もの太公望達の様子が見える。江奈湾方向に1時間程歩き片谷と云う海岸で早目の昼食にする。休憩の後、江奈湾の干潟を左に見ながら進むと一面キャベツ等の畑地帯となっていて、程なく白浜毘沙門天に着く。この後千畳敷と呼ばれる岩畳の道を進み、観音山を経て宮川フィッシャリーナにほど近い浜辺で中島氏用意の珈琲タイムとする。ここから約3kmの道のりに約1時間を要して県道を歩いて三崎港へ行き、立花という店でおひらきの会を行った。



## 2. 第52回行事 紅葉と森林セラピー西沢溪谷 ハイック

実施日：2016年10月23日（日）日帰り

行程：JR新宿駅発7:30特急あずさ3号ーJR塩山駅ー（大型タクシー）西沢溪谷入口ー西沢山荘ー三重の滝ー人面洞ー竜神の滝ー恋糸の滝ー貞泉の滝ー母胎の淵ー七ツ釜五段の滝ー不動滝ー旧森林軌道ー大久保沢ーネトリ大橋ー西沢溪谷入口

参加者：7名（敬称略）小宅仁（36学電・リーダー）、矢野睦男（32学原）、青野潔（41学化）、中島穰（44学子）、林昭彦（特別会員）、佐竹ふみ子（特別会員）、小森廣樹（42学機）

＜概要＞塩山駅9時にメンバー7名が集合。天候は晴れ。タクシーで西沢溪谷入口に着き10時過ぎ出発、ハイキングコースに入る。この地点で標高1,100mあり、西沢溪谷終点まで約300mの標高差を登ることになる。笛吹川を左下に見ながら無人となった西沢山荘、田部重治の文学碑を通り過ぎる。続いて二俣吊り橋を渡り、道は細くなり、そして険しくなり、鎖に掴まって登る。最初の滝の三重の滝。次の地点の人面岩で小休止。途中若い人たちと出会ったが多くは山ガール達だ。続いて竜神の滝などいくつかの滝を見てやがて滝群の中のハイライトで日本の滝百選の一つである七ツ釜五段の滝だ。絶景だ。そしてコース終点となる休憩場所に到着する。12時20分ここで昼食。13時、下山開始。コースはトロッコ道であり、そこを歩いて下り、14時20分、無事に登山口に到着した。



### ◇次回の計画は丹沢山を予定。

東京支部HPでお知らせします。多くのご参加を期待しております。

### 連絡窓口

会長：小森 廣樹 TEL. 045-573-3625  
副会長：青野 潔 TEL. 044-954-2573

# 写真部

小林 渡 (昭38学電)

平成28年度は春5月と秋11月の2回、写真部員に一般参加者(ゲスト)を交えて撮影会を行いました。また、例年どおり東京支部「同窓の集い」では、部員が作品を持ち寄り写真展示を行いました。以下にそれぞれの概要を報告いたします。

## 1. 「春の撮影会」開催

5月19日(木)に「文豪達が生きた街(文京～本郷界隈)を歩く」と題した散歩コースで開催しました。参加者は23名で大盛況でした。当日は雲一つない快晴で、新緑の中、かって樋口一葉・夏目漱石・正岡子規・森鷗外達が愛し、歩いた街に思いを巡らし撮影・散策を楽しみました。

参加者(敬称略): 玉川(28学電)、鈴木(30学原)、三本木(30学金)、山崎(31学原)夫妻、矢野(32学原)、森永(36学機)、澤野(37学機)夫妻、兼子(38学電)、小林一(38学機)、小林渡(38学電)、白石(38学化)、三好(39学機)、田中(40学化)、高橋(41学機)、小林広樹(42学機)、黒澤(45学精)、ゲスト(男1・女4)

コース: 炭団坂⇒樋口一葉旧居跡⇒菊坂下道⇒宮沢賢治旧居跡付近⇒菊坂通り⇒一葉ゆかりの伊勢谷質屋⇒昼食(東京大学食堂)⇒三四郎池(東京大学構内)⇒小石川後樂園⇒懇親会



<新緑の三四郎池>

## 2. 第36回「同窓の集い」で写真展開催

9月10日(土)に開催された東京支部「同窓の集い」で、例年どおり部員が作品を持ち寄り写真展を開催しました。この写真展には7人が参加し、13点の

作品展示を行いました。この展示での出展リストと作品から抜粋したものを20～21ページに掲載させていただきます。

## 3. 「秋の撮影会」開催

11月28日(月)に「～森鷗外生誕150年～文の京文学散歩～」というテーマで撮影会を開催しました。森鷗外が暮らし、学び、そして作品の舞台となったゆかりの地、無縁坂、解剖坂、藪下通り等をゆっくりと撮影・散策を楽しみました。

参加者(敬称略): 山崎(31学原)夫妻、白石(38学化)、小林(38学電)、田中(40学化)、堀野(40学精)、高橋(41学機)

コース: 無縁坂(小説雁の舞台)⇒講安寺⇒東大鉄門⇒東大構内(三四郎池・イチョウ並木)⇒根津神社⇒夏目漱石旧居跡⇒解剖坂⇒藪下通り⇒森鷗外記念館



<東大鉄門前>



<紅葉の三四郎池>

## 連絡窓口

小林 渡 : koba-wt@nifty.com

鈴木 日出男 : hideo-su@d6.dion.ne.jp

# 平成 28 年度同窓の集い作品展 出展写真から抜粋



『第 52 回神奈川県美術展写真部門入選』

「至福の一杯」・青森県八戸市  
小林 渡 (昭 38 学電)



「奈良井宿晩夏景」・長野県塩尻市  
三好 成實 (昭 39 学機)



「犬の散歩」・スペインバルセロナ  
山崎 慎一郎 (昭 31 学原)



「黄砂に霞むオアシス (月牙泉)」・中国  
坏 弘 (昭 37 学機)



「北アルプス・槍ヶ岳」・奥穂高岳から  
森永 隆宏 (昭 36 学機)



「莫高窟仏像群」・中国  
坏 弘 (昭 37 学機)



「木曾御嶽山・二の池」・御嶽山山頂から  
森永 隆宏 (昭 36 学機)



『第 66 回埼玉県展入選』

「朝の散歩」・オーストラリア  
鈴木 日出男 (昭 30 学原)



「踊るカクテル光線」・ハウステンボス  
柳下 幸夫 (昭 49 学機)



「絵画の風景」・ハウステンボス  
柳下 幸夫 (昭 49 学機)

平成 28 年度同窓の集い作品展・出展リスト

NO	撮 影 者	卒業年度	作 品 題 名	撮 影 地	撮影時期 (D or F)	備 考
1	鈴木日出男	昭 30 学原	「朝の散歩」	オーストラリア	2014・4・D	平成 28 年第 66 回埼玉県展入選
2	山崎慎一郎	昭 31 学原	「犬の散歩」	スペイン・バルセロナ	2016・1・D	
3	〃	〃	「ヒンドウー教の祈り」	インド	2015・12・D	
4	森永隆宏	昭 36 学機	「北アルプス (奥穂高岳から槍ヶ岳を望む)」	北アルプス・槍ヶ岳	2002・7・F	
5	〃	〃	「木曾御嶽山 (山頂から二ノ池・乗鞍岳方面を望む)」	北アルプス・木曾御嶽山	〃	
6	坏 弘	昭 37 学機	「黄沙に霞むオアシス (月牙泉)」	中国・月牙泉	2016・5・D	
7	〃	〃	「莫高窟仏像群」	中国・莫高窟	〃	
8	小林 渡	昭 38 学電	「至福の一杯」	青森県・八戸市	2016・2・D	第 52 回神奈川県美術展写真部門入選
9	〃	〃	「真夏の風物詩」	神奈川県・箱根町	2016・8・D	
10	三好成實	昭 39 学機	「奈良井宿晩夏景」	長野県・塩尻市	2015・9・F	
11	〃	〃	「けあらしの海」	—	—	
12	柳下幸夫	昭 49 学機	「絵画の風景」	長崎県・ハウステンボス	2015・8・D	
13	〃	〃	「踊るカクテル光線」	〃	〃	

# 女子会

副会長 鈴木（旧姓 西村）葉子（昭 62 学化）

多賀工業会の皆様には、いつも東京支部女子会に温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。今年度の活動をご報告させていただきます。

## 1. 同窓の集いに女子会メンバー6名参加

今回の同窓の集いには、これまでの最高人数 6 名の女子会メンバーが参加しました。嬉しいことに、今まで女子会のランチに出席されていた 2 名の方が、同窓の集いに初めて参加され新しい出会いがありました。また、女子会太田会長の発案で、講師の馬場工學部長の研究室に参加をお勧めして、2 名の現役大学院生と、若手卒業生 1 名にもお越しいただきました。今後も学生に参加を呼び掛けていただけることを期待しています。

女子会関係の方に当日ご記入いただいた同窓の集いのアンケートの一部を以下にご紹介します。

- ◇茨大の現状と方向がわかり、とても興味深かった。
- ◇研究室の学生さんが来てくれて良かったと思う。各学科から来られたらもっと若返りができてよいと思う。
- ◇なかなかお会いできない人生の先輩方と交流でき大変有意義な時間だった。

以下は馬場先生の研究室関係

- ◇こんな有意義な会を行っているのに、茨大生への周知が足りないと感じた。
- ◇茨大生にも多賀工業会の現状を知ってもらう手段があれば良いと思った。
- ◇現役生のうちから多賀工業会の活動に参加しやすくして、諸先輩方との縦のつながりを持つことの価値に気づかせることが、若者を増やすきっかけになるかもしれない。



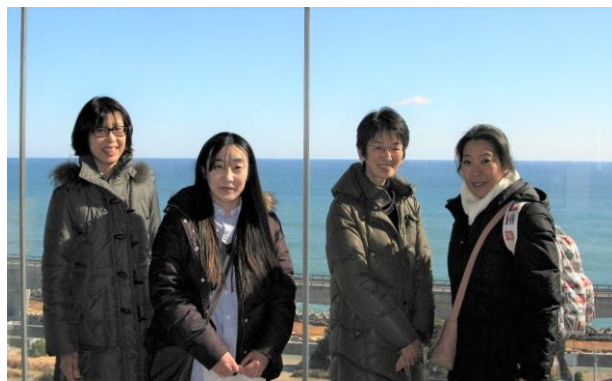
〈同窓の集い〉

## 2. 新年会ランチ

2017 年 1 月 28 日（土）、日立で新年会を実施しました。参加者は 4 名、日立駅海岸口側にある三春という料亭で行いました。当日はとても良い天気、青い海の景色を見ながら、楽しいひとときを過ごしました。学年や学科が違っていても、同じキャンパスで過ごした学生時代の話や、最近の学生の考え方に驚いたこと、職場のことなど、話が尽きませんでした。また、今後の女子会の活動計画も話し合いました。

次回はこうぐ祭のオープンキャンパスに参加して、お茶をしながら女子学生の悩み事相談をしたいというご意見もありました。

皆さんお忙しくなかなか大人数は集まれません、7 月 8 日（土）の同窓の集いや、秋のランチ会にて是非お会いしたいと思います。皆様、よろしくお願い致します。



〈新年会〉

## 3. その他の活動

2016 年 7 月 2 日に多賀工業会創立 75 周年記念式典へ太田が参加しました。同窓の集い以上に盛大で和やかな会のなか、卒業以来 30 年ぶりの再会もあり、多くの同窓生から刺激を受けた一日となりました。

この会報をきっかけに、毎年多くの方からご連絡いただきます。今年もお気軽にご連絡くださいませ。（男性会員の方もぜひ！）

多賀工業会東京支部女子会 [taga.gyoshi@gmail.com](mailto:taga.gyoshi@gmail.com)

※2017 年 1 月から担当者とメールアドレスが変わりました。

# テニス部

部長 河上弘一（昭38学機）



常日頃のテニス部メンバーは、地元の会員制クラブや気の合った仲間で作る同好会サークルに所属し、仲間内でプレーを楽しんだり公式試合に出場して真剣勝負に打ち込んだりしています。多賀工業会東京支部テニス部の行事としては、年2回（春秋）の練習会、福島大学テニス部卒業生との交流会（秋）、茨苑祭に合わせた水戸本部での現役との交流戦（秋）を基本的な活動としております。以下に28年度の基本的な活動について、報告いたします。

## ①平成28年5月18日（水）第1回練習会・懇親会

・場 所：小金井公園テニスコート（1面）

・参加者：9名（2名は懇親会から合流）

練習会終了後場所を移し、懇親会で28年度活動計画を打ち合わせました。



## ②平成28年9月9～10日（土）福島大学との卒業生交流会・懇親会

・場 所：那須スポーツパーク（一泊二日）

・参加者：茨城大学6名（東京支部2名）、福島大学7名の計13名



今年は東京支部の『同窓の集い』と重なってしまったので、東京支部からの参加が少なくこじんまりした交流会になりました。しかし、天候に恵まれ、かつ、茨大側から初参加が1名いて、とても和やかな雰囲気です。来年は、先方の梅津御夫妻の手打ちそばを目玉にした企画となりそうです。

## ③平成28年11月12日（土）茨城大学テニス部交流戦（茨苑祭と同日開催）

・場 所：茨城大学本部（水戸）

・参加者：現役と卒業生の計19名（東京支部3名）  
昨年と異なり天候に恵まれ、水戸本部にて現役との交流戦を盛大に行いました。『茨苑祭』に合わせた現役との交流戦は3年目ですが、準備委員会を作って十分な打合せの下に開催しているので、円滑に運営され参加者が満足する行事となっています。



## ④平成28年11月24日（木）第2回練習会・総会

・場 所：小金井公園テニスコート

・参加者：9名

54年ぶりの東京都心での初雪となり、練習会は中止となりました。しかし、足元が悪い中9名が参集し、今年度の反省と来年度の計画について意見交換をおこないました。



連絡窓口

部 長：河上弘一 [k-kawakami39@jcom.home.ne.jp](mailto:k-kawakami39@jcom.home.ne.jp)

副部長：徳江景英 [kagehide@tbz.t-com.ne.jp](mailto:kagehide@tbz.t-com.ne.jp)

## HP 編集室より

HP 編集室長 黒澤 郁雄 (昭 45 学精)

HP 編集室長を仰せつかってから早 2 年。HP に掲載する原稿を各幹事さんから受け取り、幹事さんのご意向を考えながら HP 用原稿を作成してきました。結果的には前に発行した原稿の「おしらせや」「報告」をコピー&修正しながら、今回の幹事さんの原稿が求めているものは何か探りながら原稿を作成しております。時々、入力の間違いや、小生が日常入力している習慣で原稿通りの入力が出来ていず、幹事さんにご指摘を受けながら完成原稿を HP 上にアップロードしております。やりがいは各部からのお知らせで参加者が多く集まったとの報告結果を受け取った時です。小生の原稿が縁の下の力になっているのだと感じております。一年間一人で（前編集室長の矢野先輩の助けを受けています。(笑)）多賀工業会東京支部の HP 運営が出来たと喜んでます。当然ながら会員の皆様のお力添えがあったことは言うまでもありません。今後ともご協力のほどお願い申し

上げます。HP 作成にかかわり会員の方々とコミュニケーションも取れ、楽しく多賀工業会東京支部の活動の裏方として微力ながら貢献できたことは良かったと考えております。

HP の作業をして嬉しいのは会員の方々から日常の情報提供です。部活動の開催・活動報告は定例作業ですが、28 年度は大塚進氏の読売俳壇全国版での入賞、矢野睦男氏の日本マスターズ水泳大会での日本記録達成の記事は、作成しながらワクワクさせられました。多賀工業会東京支部の会員には凄い方が活躍していることを他の会員にお知らせ出来たことは幸せでした。どしどし原稿を送って頂ければ幸いです。現在の HP 編集室は小生一人ですが、矢野先輩にご相談しながら、更なるステップアップを目指し頑張りますので、会員の方々のご指導、ご協力をお願い致します。一人より二人での編集作業を希望しております。苦労があるから楽しみもある HP 編集をやってみたい方は多賀工業東京支部 HP のトップページから WEB メールにてご連絡をいただければ幸いです。

URL : <http://tokyo.tagakgk.com/>

## 編集後記

◇会報編集室長として、3 年目を迎えました。会報発行までの進め方が大分理解できてきて、割付け・工程 (案) の作成や幹事会における説明承認・その後の執筆担当者へのフォロー等、タイミングを狂わすことなくできるようになったと自画自賛しています。

しかし、いかに段取り良く計画を推し進めても、最終的には原稿を書いてくださる会員の皆様の協力が得られるか否かに左右されます。もちろん全てを私一人で消化できるわけは無く、幅広い年代層の方々に随筆を執筆して戴くために各年代層ごとに窓口担当を引き受けてもらっていますし、同好会活動は会の代表者に執筆をお願いしているというように東京支部における各役職者にそれぞれ自分が担当する分野の原稿を執筆して戴いております。

一方で、何らかの理由で SOS が発信されることも、想定しておく必要があります。今回もいろいろありました。そんな時、幹事会メンバーの顔を思い浮かべながら、懇願のメールを発信しまくりました。中には出張先の海外から返信を戴いたケースや、真夜中に近い時間に会社から返信を戴いたケースもありました。そして、最終的に打つ手なしになった時に、支部幹部の『俺が書こう！』の一言で助けられます。これは本来の形ではないかも知れませんが、会報を発行し続けることが重要です。会員の皆様に感謝するとともに、今後ともご協力よろしくお願い致します。

また、今回若い年代の方々から頂いた原稿は、頁を付け加えるだけで全く編集する必要がない内容に仕上がっていました。そのうち、編集作業というのが簡単に済ませられる時代になりそうな予感がします。  
(金子芳久)

### 編集室員

兼子 八郎 (昭 38 学電)	小林 渡 (昭 38 学電)
藤枝 伸一 (昭 45 学子)	金子 芳久 (昭 48 学機)
加藤 清 (昭 50 院精)	柳下 幸夫 (昭 49 学機)
小澤 喜宏 (昭 53 学子)	鈴木 葉子 (昭 62 学化)
二川 克美 (昭 63 院情)	

多賀工業会東京支部会報 [第 20 号]

発行 平成 29 年 5 月 27 日

発行者 支部長 小林 一

〒226-0002 横浜市緑区東本郷 3-39-2

TEL 045-473-0928 / FAX 同左

# 平成28年度会費納入者

(敬称略、順不同)

\* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡お願い致します。また、未納の方はご入金をお願い致します。

(本名簿作成者:名簿編集室 飯塚)

Tel:045-755-1588 E-Mail:ggr5020@yahoo.co.jp

平成29年1月以降の納入は掲載しておりません。

氏名の後の○は平成29年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

昭18専機 山本 栄治	昭32学電 山下 正明	昭38学電 内田 茂	昭40学化 田中 栄太郎
昭18専金 市島 健男 ⑤	昭33学原 吉久保 節男	昭38学電 大竹 充	昭40学精 大泉 雅靖
昭20専原 友保 伊弘	昭33学機 奥 康治 ④	昭38学電 大久 忠雄	昭41学機 富田 瑞穂
昭22専機 佐藤 喬太郎 ②	昭33学電 鈴木 賢	昭38学電 兼子 八郎 ①	昭41学化 青野 潔
昭22専金 土屋 敏夫	昭34学電 千葉 克男 ②	昭38学電 熊谷 文男 ②	昭41学化 小沼 淳志 ③
昭22専通 中村 弘	昭35学機 高野 久弘	昭38学電 小島 淳	昭41学化 斉藤 保夫
昭22専通 前田 豊昭	昭36学機 上月 秀俊 ③	昭38学電 後藤 紀夫	昭41学化 橋川 隆夫
昭23専機 梅田 政夫	昭36学機 真下 知行 ①	昭38学電 小林 渡	昭41学化 矢島 勝司 ⑦
昭23専電 塩野 譲 ①	昭36学機 森永 隆宏	昭38学電 坂野 栄	昭42学機 小森 廣樹
昭24専通 海老原 和	昭36学機 横山 馨	昭38学電 佐々木 登喜夫 ①	昭42学機 菅谷 禎男
昭24専舶 杉山 六郎	昭36学機 綿引 憲夫	昭38学電 橘 弘	昭42学電 粕谷 利夫
昭25専原 忍田 邦夫	昭36学電 飯村 卓郎 ⑦	昭38学電 寺内 賢一	昭42学電 森田 徹郎
昭26専通 菊地 玲二 ⑨	昭36学電 小宅 仁 ②	昭38学電 橋本 政巳 ⑤	昭42学電 山田 恵規 ⑦
昭28学機 坂場 昭二	昭36学金 鈴江 芳雄	昭38学電 綿引 貞男	昭42学金 小菌井 健 ②
昭28学機 高田 丈夫	昭36学金 高信 和明 ③	昭38学金 海老原 雄二	昭42学精 下ノ村 勇 ②
昭28学電 稲見 孝	昭37学機 坏 弘	昭38学化 大塚 進 ③	昭42学精 山本 蕃
昭28学電 橋本 久美	昭37学機 野本 光彦 ②	昭38学化 小田倉 勝夫	昭43学機 藤沼 隆夫
昭28学電 藤田 史郎	昭37学機 服部 則男 ①	昭38学化 柴崎 康 ③	昭43学電 後藤 豊弘 ①
昭29学原 石橋 弘 ④	昭37学機 宮沢 信夫	昭38学化 白石 道彦	昭43学子 佐藤 将彦
昭29学原 奥野 眞治	昭37学電 上田 正雄	昭38学化 高木 二郎	昭43学子 鈴木 弘道 ③
昭29学機 永島 隆	昭37学電 西川 正登	昭38学化 矢部 功一 ⑦	昭43学子 角田 勇
昭29学電 森 章太郎	昭37学金 舟田 隆	昭38学精 磯部 亮	昭43学子 野崎 淳一 ⑥
昭30学原 鈴木 日出男	昭37学化 寺門 紘	昭38学精 市村 敬司 ③	昭43学子 袴塚 邦彦 ④
昭30学機 小室 敏之	昭38学機 河上 弘一	昭38学精 上野 武彦 ①	昭43学化 池上 毅
昭30学機 田口 忠夫	昭38学機 小林 一	昭38学精 矢嶋 國男	昭43学精 斉藤 央道 ③
昭30学機 松澤 勝海 ③	昭38学機 駒場 方耀	昭38短機 箱山 雍 ①	昭44学子 阿部 正志
昭30学金 三本木 武	昭38学機 桜井 衛	昭39学機 佐川 六郎	昭44学子 野澤 敏矩 ①
昭31学原 山崎 慎一郎	昭38学機 丹下 宏	昭39学機 三好 成實	昭44学子 吉田 真吾
昭31学機 高橋 義博	昭38学機 寺門 章	昭39学電 塚本 文彦	昭44学化 斉藤 昭 ③
昭31学電 大内 孝	昭38学機 徳江 景英	昭39学電 原 俊彦	昭44学精 菊地 政行
昭31学電 藤川 俊明	昭38学機 豊田 元雄	昭39学金 横山 安行 ①	昭45学電 小滝 麟太郎
昭32学原 矢野 睦男	昭38学機 中村 好秀	昭40学機 武田 紀男 ①	昭45学電 永木 利夫 ⑥
昭32学機 伊藤 義次 ①	昭38学機 長谷川 幸夫 ①	昭40学電 手塚 勇夫	昭45学電 吉田 通廣
昭32学機 國井 榮次	昭38学機 益子 洋一	昭40学電 山崎 輝行	昭45学子 藤枝 伸一 ③
昭32学機 平沢 正一	昭38学電 今橋 富美男	昭40学金 松本 二郎	昭45学精 長部 弘志 ②

昭45学精 黒澤 郁雄 ①	昭48学機 村上 宗久 ①	昭52院精 押野 博明	昭62学機 神作 武志 ②
昭46院機 岡本 和彦 ①	昭48学化 駒坂 俊樹 ③	昭53学子 小澤 喜宏	昭62学化 鈴木 葉子
昭46院機 小泉 裕 ④	昭48学精 福島 良信 ①	昭53学子 加藤 邦治	昭62学情 大西 孝明
昭46学電 飯塚 英一	昭49学機 柳下 幸夫	昭53学情 西部 俊憲	昭63院情 二川 克美
昭46学電 狩野 守	昭49学電 坂本 淳	昭54学金 豊田 邦宏 ④	平02院金 柴野 直樹 ③
昭46学子 栗原 功幸	昭50学機 松尾 泉	昭54学精 田中 克弘 ①	平04学情 秋山 英樹
昭46学金 今富 久雄	昭50学子 松田 実 ②	昭55学機 長 正彦	平05学機 千田 洋樹
昭46学金 大井川 勝雄	昭50学金 武藤 和望 ②	昭55院電 丸島 國義	平08学電・子 生井澤 伸秋 ⑧
昭47学機 高田 洋 ④	昭50院精 加藤 清	昭55学情 松本 博行 ①	平08院生 東 學 ①
昭47学機 西岡 周二 ①	昭50学精 岸添 義彦	昭57学機 水口 一郎	平09学都 小林 靖典
昭47学子 五十嵐 喜良 ⑥	昭51学子 庄司 益宏 ②	昭60学電 太田 悦子 ①	平10学機 山本 夏江
昭48学機 金子 芳久 ④	昭52学子 長尾 英則 ②	昭60学精 豊福 秀敏	平10学機 吉田 順子
昭48学機 宮城 緑郎	昭52院金 渡辺 隆	昭62院機 平尾 直人	平19学社科 大江 正敏
			合計 192名

## 平成28年度ご寄付者名簿

(敬称略、順不同)

ご寄付有難うございました。

昭23専機 梅田 政夫	3,000	昭38学電 佐々木 登喜夫	28,000
昭29学原 石橋 弘	50,000	昭41学化 矢島 勝司	4,000
昭36学機 上月 秀俊	2,000	匿名希望	15,000

年会費納入のお願い：添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。  
ご寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。

この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度（平成28年度）の年会費は未納となっています。

会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H24～H28)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H24年からH28年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。

<宛名サンプル例示 (C) に該当します>

- (A) 11111→5年間分完納。
- (B) 11110→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C) 11100→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D) 00000→この5年間未納。会報未送付年を含む。
- (E) 00111→H26年から3年間納付。会報未送付年を含む。

101-1234 会報20号在中  
東京都千代田区多賀町1-2-3  
多賀本町住宅 3番街 5-2345  
**多賀専 学太郎様**  
昭XX学○ (H24～H28) 11111



# 新しい資産形成の考え方

インカム住宅を建てることで  
自分たちの住む家にかかる支出を0(ゼロ)にする。

戸建賃貸住宅 casita

詳しくはwebで。

資料請求、お問い合わせは  
こちらまでお気軽に！

0120-355-347

建設業許可番号 / 茨城県知事登録 (特-22) 第 19313 号

日立市多賀町 2-4-6 株式会社 ジュン・ホーム

茨城大学工学部  
昭41学化  
後援会長



(株) ジュン・ホーム  
代表取締役  
小沼 淳志

私たち大協印刷は、  
印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。  
ぜひ一度ご相談ください。

- |          |   |
|----------|---|
| PR 関連商品  | <input type="checkbox"/> 会社案内 <input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> 社内報 <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> カタログ<br><input type="checkbox"/> パンフレット <input type="checkbox"/> マニュアル <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 記念誌<br><input type="checkbox"/> パネル <input type="checkbox"/> ダイレクトメール |
| IR 関連商品  | <input type="checkbox"/> 事業報告書  |
| 学術関連商品   | <input type="checkbox"/> 紀要 <input type="checkbox"/> 学会誌  |
| 事務用品関連商品 | <input type="checkbox"/> 名刺 <input type="checkbox"/> 封筒各種 <input type="checkbox"/> 伝票各種 <input type="checkbox"/> レターヘッド<br><input type="checkbox"/> 連続帳票  |
| その他      | <input type="checkbox"/> 一般書籍 <input type="checkbox"/> 自費出版 (句集、詩集、写真集) <input type="checkbox"/> 名簿<br><input type="checkbox"/> 各種ノベルティ <input type="checkbox"/> その他  |



大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14  
TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293  
E-mail: info@daikyo-print.co.jp

